

2014 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	スポーツ・健康科目
-----------	-----------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

スポーツ・健康科目では、100%の実施率であり、回答率は、92.2%(昨年度春学期 91.6%)であり、全体的に回答率が高い。昨年度春学期のスポーツ・健康科目と比較し、以下 3 点が特徴として挙げられる。

- (1) 学生の授業内容理解度、授業中の意欲的な活動、知的好奇心、教員の話しの理解度、授業方法、授業内容とシラバスの一致、教員の授業に対する配慮に関する項目はいずれも平均値 4.2 を超え、全体的にかなり高い。特に、いずれの質問項目でも、評点が 5 の割合が最も高く、すべて 5 割以上を超えている。このことは、昨年度春学期とほぼ同じ傾向を示している。
- (2) DWCLA10 の選択率に関してもコミュニケーション力が全体の 45.6%(昨年度春学期 42.4%)であり、最も高い比率である。次に、自己管理能力が全体の 27.2%(昨年度春学期 24.8%)、思いやる力が 23.9%(春学期 19.5%)、変化対応力が 14.1%(昨年度春学期 13.8%)と続いている。この傾向は昨年度春学期とほぼ同じである。
- (3) 今回、授業時間以外の学習時間を一週間に何時間学習したのかを明確し、全学平均と比較したグラフが新たに提示されている。とてもわかりやすくなった。授業外学習時間が 0.14 時間であり、全学平均よりもかなり低い。内訳として、0 分が 85.5%(昨年度春学期 65.1%)という結果であった。これは昨年度の春学期とほぼ同じである。

以上、スポーツ・健康科目は全体的に関しては、春学期とほぼ同じ傾向を示している。(3)に関しては、科目の特性上、本来あまり予習、復習を必要としない科目であるかもしれない。しかし、学生に対してもう少し多くの時間を授業時間以外の学習として与えることも重要であると考え。今後、この科目の特性を生かした教育を充実させてほしい。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育・研究推進センター